

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ウィズ・ユ－大宝		
○保護者評価実施期間	2026年2月13日		～ 2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2026年2月9日		～ 2026年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個性の特性に合わせた支援形態。	児童の特性にあわせたレクリエーションでのみんな遊びや個別での学習支援、そろばん学習、体幹トレーニング等の個別プログラムや専門的プログラムの実施。	学習スペースと遊ぶスペースの設置。
2	安心・安全にご利用していただける環境づくり。	職員間で児童の状況や支援内容にゆいて情報共有を行い、統一した支援が行えるよう連携を図っている。	送迎時やhugのサービス提供記録を通して、子どもたちの様子を保護者様に丁寧に伝え、信頼関係の構築に努めます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所や地域との交流の機会が少ない。	地域行事の参加や他事業所との交流の機会などイベント企画を増やす。	イベント内の立案や地域行事のスケジュールを把握。
2	保護者同士が交流する機会が少ない。	送迎時の限られた時間でのやり取りが中心になり、ゆっくりと意見交換を行う機会が少ないため。	面談、保護者会、通信等を活用し、事業所の取り組みや子どもたちの様子を活用するとともに、保護者同士が交流できる機会を検討していく。
3	災害時に備えた対応や避難訓練を年2回実施やイベントなどで実施を行っているが保護者様への周知が十分と言えない。	災害に対する避難経路や避難場所は決めているが保護者様への周知が不十分。	通信などで避難訓練の実施様子や避難場所を保護者様に周知できるように改善する。また、マニュアルの見直しや緊急時に迅速かつ安全に対応できる体制づくりを進めたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ウィズ・ユ-大宝
------	----------

公表日 2026年2月25日

利用  
児童数

3名

回収数

1名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。		1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている と思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリア フリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思います か。	1					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思 いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思 いますか。	1					
適 切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある 支援が受けられていると思いますか。	1					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内 容と合っていると思いますか。	1					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観 的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成さ れていると思いますか。	1					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支 援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択さ れ、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	1					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこ どもと活動する機会がありますか。				1		
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等 について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされまし たか。	1					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレ ーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行わ れていますか。	1					
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の 状況について共通理解ができていますか。	1					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われています か。	1					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1					
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1					
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	1					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	1					
	29	事業所の支援に満足していますか。	1					

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		ウィズ・ユード宝		公表日		2026年2月25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		他施設にヘルプを要求して人員配置を設置。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		学習エリア、遊ぶエリアの設置。	荷物を入れる棚で仕切っているので壁等で視覚的に分けたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		体調不良時等職員室や学習室の使用。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		朝礼・終礼の意見交換。	さらに改善できるようにPDCAサイクルを回している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○	○	可能な点については改善。	いただいたご意見のほかにニーズを察知して改善していきたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝礼・終礼の意見交換。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				外部評価については実施はしていないが、今後検討していきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月の会議で研修を実施している。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			公表されているが、さらにプログラムを加えて、よりよいプログラムにしていきたい。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童について職員間での意見共有をしている。	今後、放課後等デイサービス計画を作成する際は、児童の支援に関わる職員で会議を開きより一層共有認識を高める。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間での意見交換に基づく作成と計画書の共有。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			職員間でのイベント内容の相談。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			イベントやレクリエーションのプログラム内容の流動性。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			学習や個別プログラム、自由時間とみんな遊びの時間に基づいた支援計画書。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			朝礼の実施。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			終礼の実施。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			連絡ツール（HUG）にて当日の様子についての記載。また、終礼の際にノートにも記録をして非常勤にも情報や当	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			半年毎に計画書の修正。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			自由遊びやみんな遊び時間、工作やクッキングのイベント提供。	地域交流については要改善。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			何をして遊ぶか、おやつは何を食べるか等。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			グループ代表者、施設管理者が参加をしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	○			不十分なので、積極的に地域の機関との連携を深めていきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答)	○	○		毎月の下校時刻表を学校からお預かりしている。	
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。		○			情報共有方法を考えていく。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		○			小学校卒業後はグループ施設の（ウィズ・ユ-mirai、ウィズ・ユ-kanau）に移る児童が多い。そちらと共有はで
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					自立支援協議会や部会へ参加して、必要な研修の場を作っていく。
31	(31は、事業所のみ回答)					今後、交流機会を作っていく。	
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	○			グループ代表者が参加しているが、今後は施設からも参加できるようにしたい。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○				送迎の際にご利用の様子をお伝えしている。	

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。			保護者会等実施して情報共有を行っている。	保護者会の開催頻度を検討したい。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		利用契約時に説明をしている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			非常勤も含めて支援内容を十分に把握するよう努める。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		定期面談や常日頃から話ができる環境づくりに努めている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者会や交流イベントを開催。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		職員間での共有と対策の設定。	問題が発生した場合には、速やかに対応することを心がける。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			お便りやSNS発信の頻度を増やす。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	○		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。				行事開催時の周知、その設定方法。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		年に2回の避難訓練の実施。(地震、火災)	周知方法については要改善。
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		年に2回の避難訓練の実施。(地震、火災)
46		業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		アセスメントシートの確認。	
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメントシートの確認。	
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			安全計画の作成、安全管理訓練の実施。
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			安全訓練実施時はHUGの記録等で周知。
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		ヒヤリハットの記入と朝礼と終礼での共有。	未然に防ぐためにも危機管理の感度を上げていきたい。
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○		虐待防止のための対策検討委員会の設置、研修を実施している。	さらに理解が深められるようにしていきたい。

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		身体拘束等の適正化のための対策検討委員会の設置、研修を実施している。	さらに理解が深められるようにしていきたい。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。				